

★第 2 クール 1 日目 (29 日) の活動報告

<支援内容・活動内容>

- ・福祉避難所にいる一般の避難者を別に移して、介護が必要な人を受け入れる体制についての対応
- ・4つの小さな避難所を新たに作る (50名程度)
- ・その一つに特養のひとつにいる元気な人をそのまま移す計画
- ・天井が崩落したアリーナの整備を急いで、そこを新たに避難所とする。
(そこにケア付きの避難所にできないか今後課題)
- ・小学校は 5 月 8 日までで今後は教室の避難はできなくなる
- ・岩手県 DCAT 同行。明日からのニーズ調査の調整。
- ・17:30 広安西小避難所保健師より入浴支援の相談→あんずでの受け入れ調整を行う。
- ・総合体育館の夜の排泄見守り介助の依頼の調整。

<気が付いたこと等>

- ・避難所会議の開催の連絡が 1 時間前に届く。今日は渋滞がなくいけたため参加できた。開催されることはいいが、連絡がない (遅い) のは?
- ・クールの入れ替えはあわただしい。11 時に集まれなかったため、飛行機組は車の中でおにぎりを食べてもらう。

<その他>

- ・女性が一人ということで、川原さんの事業所のスタッフ (女性) が参加する (ペアで活動が基本)。
- ・支援者が多く、支援者が仕事を探している状況。何かあるとみんなよってたかって手を出す状況。
- ・各避難所と信頼関係を作るためにも、何もなくても要請があれば応えることが大切ではないかと考えている。――

★第 2 クール 2 日目 (30 日) の活動報告

<支援内容・活動内容>

◇あんず

- ・日中支援 1 名、夜間支援 1 名、夜間支援明け 1 名
- ・夜間支援の迎えを 8:30 に。

◇広安西小

- ・入浴介助の依頼→「空振りになるかも (保健師)」→「それでもいいです。行きます。(Co)」入浴介助実施。

◇総合体育館

- ・夜の排泄介助は2人体制で継続（介護福祉士会）
- ・週明けから学生を3名こちらのチームと同行

◇交流情報センター

- ・岩手 DCAT と同行。その場所の担当者と調整を行う
- ・明日から 10 時、15 時半の会議に参加
- ・車中泊、避難所調査

<気が付いたこと等>

- ・支援者があまりにも多い。
- ・全体的な問題で調査にクレーム（避難者よりも調査者のほうが多い？）
→5月2日（月）8:30～益城町にて調整会議。明日の調査はなし。

★第2クール3日目（5月1日）の活動報告

◆小規模多機能あんず

- ・昨夜の夜勤中に小さな余震が2回あり。
→我々が夜勤者を派遣する意義は、大きな地震があった場合にとりなりの広安
小の校庭に安全に避難することができるという
- ・安心感にもつながっている様子。
- ・本日は午後からアクティビティの支援に入り、利用者さんと楽しくゲームを
したりして盛り上がった。
- ・後藤・竹本で、近くのハピネス（保健福祉センター）に避難している人のな
かで、自衛隊のお風呂に入りづらい人（介護度の重い人）の入浴の場として
お風呂を提供してもらえないかと相談したところ、管理者の方は「午後から
なら」と快諾してくれた。→しかしいきなり始めるよりは、あせらず少し間
をおいたほうがよいのでは？という意見もあり、「あんず」のお風呂を活用す
るかどうかは第3クールに申し送る。

◆ハピネス（福祉保健センター）

- ・保健師からの依頼で右くるぶしに褥瘡（できかけ）のある女性（要介護4
相当）の入浴介助を女性スタッフ2名で実施。
- ・単発的な依頼だが、褥瘡もあるし今後どうするか。
→とりあえず定期的に顔を出して様子を確認しながら急な依頼に対応でき
るように努めることとする。
- ・保健師さんにコーディネーター専用の携帯電話の番号を伝えたが、理解し
ておられず。→再度周知。

◆中央小学校

- ・保健師から女性の方の入浴介助の依頼があったが直前にキャンセルとなる。
- ・男性で片マヒの方の入浴支援を自衛官（なんとOTの方もいる）だけで対

応しておられたがその部隊が
交代するとのことで、その方の入浴を引き継ぐために今日の入浴に関わら
せてもらった。→第 2 クールのスタッフが記録に介助の手順を細かく書いて
くれたので、今後の参考にしてもらいたい。→こちらもコーディネーター
の専用電話について保健師さんにもう一度周知が必要。

◆ 広安西小学校

・保健師からの依頼で男性の入浴介助を実施→こちらもコーディネーター
の専用電話について保健師さんにもう一度周知が必要。